

研究機関：広島大学

|             |  |
|-------------|--|
| 研究課題名       | KRAS 遺伝子変異 G12C に対する分子標的薬剤の<br>耐性機序と臨床病理学的背景の探索  |
| 研究責任者名      | 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター<br>腫瘍外科 教授 岡田 守人   |
| 研究期間        | 2020年6月22日(倫理委員会承認後)～ 2022年12月31日  |
| 対象者         | 1997年1月から2018年12月の間に、広島大学病院呼吸器外科で原発性肺癌に対して手術による治療を受けられた患者さん。   |
| 意義・目的       | 肺癌の中には KRAS という遺伝子に通常ではみられない変化を有するタイプがある事が以前から知られていました。これまでこの遺伝子変化は治療には関係しなかったのですが、近年になり特定の薬剤が効きやすい事が判明してきています。<br>この薬剤はまだ臨床では使用できませんが、この研究では将来的な臨床応用を見据えて、KRAS 遺伝子に変化があっても、この薬剤が効かなくなる場合や最初から効きにくい場合はこういった背景で起こるのか調べることを目的にしています。 |
| 方法          | 診療録（カルテ）情報と手術で切除された標本を調査に用います。<br>用いる内容は年齢、性別、手術の種類、腫瘍の部位、病期、顕微鏡検査での腫瘍の特徴、検討対象となる遺伝子形態の有無です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）  |
| 共同研究機関      | ありません  |
| 試料・情報の管理責任者 | 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人  |
| 個人情報の保護について | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。<br>研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。   |
| 問合せ・苦情等の窓口  | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3<br>Tel : 082-257-5866<br>広島大学病院呼吸器外科 呼吸器外科 宮田 義浩  |